

「羽月西小学校の宮人棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	伊佐市立羽月西小学校
2. 学年・人数	1年生～6年生 14人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年5月～10月 本校体育館及び校庭 令和7年10月29日（水）唄い手さんをお迎えしてリハーサル（校庭） (2) 発表の日時・場所 令和7年11月2日（日）羽月西小学校校庭 (羽月西小学校、羽月西校区合同文化祭“黒豚祭り”）
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能，伝統 行事，伝統工芸 品について	(1) 名 称 宮人棒踊り（みやひとぼうおどり） (2) 由 来 互いに棒を打ち合わせて踊る「棒踊り」は，田歌や示現流棒術から生まれ れた鹿児島発祥の独特の芸能で，五穀豊穡を祈る踊りと伝えられている。 (3) 構成等 かすりの着物に兵児帯（通称チロロ）で華やかな装い，頭には鉢巻き， 手には紙のかざりを付けた3尺の棒を持ち，12人一組で踊る。唄い手の歌 に合わせて入場し，リーダーが「やとーる」とかけ声をかけたら踊りが始 まる。棒を左右，前後の人と叩き合わせ，複雑な動作で踊りが展開する。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	小学校では，2011年から崎山東地区の棒踊りを地域の方の御指導を受けな がら，合同文化祭で披露してきた。途中，地区の人口減少により棒踊りの継 承者不足もあり，宮人地区の棒踊りに変更した。宮人地区の継承者の御指導 の下，現在まで続いている。 ダイナミックな踊りを披露するために，当初は3年生以上の児童を対象に 取り組んでいたが，児童数の減少もあり，ここ数年は低学年まで含めた全校 児童で取り組むようになった。 高学年が，毎年踊ることで踊りを身に付けており，5月から郷土タイムの 時間を利用して，低学年に教え伝えるようにしている。途中，宮人地区の継 承者に来ていただき，御指導を受けている。
6. 取組の様子 （練習状況，発 表の場等）	  <p>校区文化祭（黒豚祭り）での踊り披露</p> <p>唄い手さんとの練習</p>
感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土タイムや総合の時間に練習を重ねていくうちにミスなく踊ることが できた。たくさんの方に拍手をいただき，うれしかった。【児童】 ○ 子供たちの棒踊りは，たいへん素晴らしい。一生懸命な姿に感動を受け た。【来場された方より】 ○ 上級生が下級生に教えてくれたことで，全員が素晴らしい踊りを披露す ることができた。【教職員】